

さて、以上で、カナ書きのものに比べて、漢字で書かれたものは、思想を表現し、またこれを人に伝える点においても正確性に勝れてゐることが明らかになったと思ひます。さらに次に、迅速性^{じんそくせい}においても勝れてゐることを指摘したいと思ひます。カナやローマ字で書かれたものは、それを読み取るのにかなりの時間を要しますが、漢字ですと、ひと目ちらっと見ただけで読み取れるのであります。

実は、名神高遠道路が出来ました時に、実験した事がございます。道路標示にどんな文字を使ふかといふ事で実験をしました。ローマ字ですと、それを読み終へるのに1.5秒もかかる。これでは、秒速2、30メートルといふ高速で走る車からは読み取る事が全く不可能だといふ事が^{わか}判って、これは失格となりました。これがカナ書きになりますと、時間はかなり短縮できる。ローマ字で1.5秒かかったものが、大体0.7秒で読める。しかしながら、それでも高速で疾駆^{しゅく}する車からは読み取る事が出来ません。ところが、漢字ですと、1秒の何十分の1といふ時間、つまり、ちらっと目をやった瞬間にそれを読み取る事が出来るといふ事がわかり、結局、高速道路では、漢字以外の文字は使用に耐へないといふ事が判ったのであります。

この迅速性^{すく}に勝れてゐるといふ事は、正確性に勝れてゐる事とあひまって、読書にもものすごい効力を発揮いたします。つまり、かなで書かれた書物を読むのに比べて、同じ時間で数倍の書物を、それも正確に読み取ることが出来るのであります。私どもは、質と量との両面から物事の得失^{とくしつ}を考へなければなりません。漢字で書かれたものは、他のいかなる表記で書かれたものよりも、質においても、量においても、比較にならぬほど勝れた能力を発揮するのであります。

従つて、これからの文字といふものは、いろいろな面から論ぜられなければなりません。私どものこれからの生活を考へます時に、いろいろな知識や情報を、あらゆる方面から今まで以上に吸収しなければならなくなることは確かだと思ひます。その時に当って、大きい力を発揮するものは、カナでもなければローマ字でもない、漢字であるといふことを、現在の段階においてはさう結論づける事が出来ると思ひます。まあ、それはともかくとして、現在の表記が、新聞はもとより、雑誌、書籍、あらゆる方面で漢字が使はれてゐる以上、それを子供たちに自由に駆使^{くし}できるやうにしてやる、これがさしあたって何よりも大事なことだと考へるわけでありませう。